

1 学期終業式の校長メッセージ

降りみ降らずみの定めなき天候が続いた梅雨末期から一転して、眩しい陽射しが照りつける夏空になりました。2021 年度の一学期も、新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響で、学期途中で分散登校の実施や行事の変更があり、部活が思う存分できなかつたり、授業でのディスカッション等の主体的活動に制限が加わったり……皆さんに我慢を強いることになってしまい、申し訳ない思いでいっぱいです。そのような中で、1 学期の総括の期末試験まで駆け抜けられた皆さんのがんばりに拍手喝采です。

そして、6 月の私の誕生日には、意匠を凝らした誕生日カードをどうも有難うございました。芸術的センスに溢れた素敵なお紙、ラッピングのシールやリボンに至るまでアイデアが光っていました。お一人お一人の文面にも励ましあり、問いかけあり、ユーモア満載の躍動感ありで、沢山のエネルギーを戴きました。学院生活について「楽しくて開けてびっくり玉手箱」と記された中等科 1 年生の絶妙な表現に、思わず快哉を叫びました。皆さんの言葉の一言一句が私の生きる原動力になっています。感謝！です。

さて、本日、剣道の都大会が開催されます。例年は、夏休みに入って実施されるのですが、オリンピック・パラリンピックの関係で、日程が早まった由。今回の都大会に光塩の剣道部が出場権を獲得し、大会出場を果たします。おめでとうございます！本日の御活躍をお祈りしています。各部活が様々な大会に出場されて成果を上げていらっしゃることに、素晴らしい！です。実は、佐野は光塩在学中、中等科では文化系の部活に所属していましたが、高等科一年から剣道部にお世話になりました。当時のことを思い返すと、勝ち残って都大会の本戦に出場することは夢のまた夢……。今夏の E.S.S. の 20 周年記念舞台「ファンタジア」の開催をはじめ、現在の各部の勢いある活動に瞠目、目を見張る思いです。

高等科から剣道部に……と申しましたが、今日は、運動が苦手な「運動音痴」である私が突如高 1 から剣道部に入部した経緯とその後の顛末を少しお話したいと思います。私は、小学生のころから体育が苦手な、光塩入学前に通っていた区立の小学校では、体育の時間に「自分の身体も自分で動かさないのか！」と怒鳴られたこともありました。時は、1970 年代後半に遡って、佐野が光塩女子学院中等科 3 年の 3 学期。当時、体育は保健と合算して成績がついていたので、保健の定期試験が実施される学年では、佐野の体育の成績は少しアップしました。3 学期の保健の期末試験の最後の記述問題で、「高校生になったら健康維持・体力増強のためにどのようなことを具体的に実践するか」という設問があり、「感銘した答案にはプラス点をつける」という趣旨の文言が添えられていました。中等科最後の体育の成績で有終の美を飾りたい！と刹那に湧きあがった思いに抗しがたく、鉛筆を握りしめ、「高等科に進学したら、光塩祭後に体育系の部活に入部し、定期的に運動して身体を鍛え、体力をつけて健康維持を心掛ける」という内容を、その時は心の底からそのように思っ

心不乱に書いて答案を提出。数日後の答案講評で、花丸にプラス点をもらい、嬉しくて欣喜雀躍したのも束の間、答案用紙を手に、冷や汗が滴り落ちました。高等科 3 年間、運動系の部活で身体を動かしている自分の姿をどうしてもイメージすることができなかつたのです。「担当の成戸先生は、〈なる爺〉と呼ばれるくらい高齢でいらっしゃるから、答案の内容はすぐにお忘れになるだろう。いや、覚えていらっしゃるかもしれない。試験の時は、確かにそう思ったのだから、嘘ではない。でも、光塩祭後に、入部しなかったら、私は嘘つきになる。」悶々と葛藤しながら、中等科から高等科への橋渡しとなる春休み、そして光塩祭までの日々を過ごした私は、光塩祭終了直後に、中等科時代の部活に退部届を出し、現 5 号館の場所にプールに臨んで建っていた 1 号館体育館 2 階の体育教官室をノックして成戸先生に声を掛けました。先生は開口一番「佐野、よく来た！何部だ。」とおっしゃり、「嗚呼、先生は覚えていらしたのだ」と思った瞬間、「成戸先生が顧問をされている部に入るしかない」と咄嗟に「剣道部に入部させてください」と叫んでしまっていました。高 1 の新入部員としての基礎訓練、夏には茶色い防具袋を担いでの道場に通っての稽古があり、身体的には厳しいものがありました。「運動音痴」のため受け身が上手くできず、身体のあちこちが腐った桃のように内出血したり、籠手を受け損ねて手首を痛めピアノが弾けなくなったり、どうして剣道部に入部したのだろう……と悩む日もありました。しかし、同学年や先輩・後輩の愛ある導きで、なんとか引退まで乗り切ることができ、仲間との絆も深まって素敵な日々を過ごせたことは幸せでした。

それでも、手も足も豆だらけ、身体中をあざだらけにしての毎週の稽古を想起すると、中 3 の 3 学期の保健の期末試験で、苦手な体育の成績を少しでもアップさせたいばかりに自分にとってのかなりの無理難題を表明したことが、少し恨めしくなります。身に余る点数を戴いたことで良心の呵責を覚えて二進も三進もいかず、無理を実践しなくてはならなくなって約二年余り、楽しいことがありつつも、厳しい現実にもぶつかる体験となりました。いっときの目的追求のために良かれと思って講じた自分の対応・行為が、その後の日々にとどれだけ大きな影響をもたらすかを身に沁みて実感した経験でした。その後の人生行路で、その場さえ、当座だけ良ければという短絡的な思いを避けて、先々のことをイメージしつつ熟慮し、事に当たって歩めるよう自己内対話を心掛けているつもりですが、三つ子の魂百までのことわざ通りで性格は変わらず、佐野はまだまだ修行の身です。

私のような「運動音痴」が在籍していた剣道部が、今や、都大会に出場できる実力をつけられたことに際し、部員の皆さんの精進を壽ぎ、先生方の御指導に心より感謝申し上げます。

さて、翻って、社会に目を向けてみましょう。ワクチン接種が少しずつ進んでいますが、新型コロナウイルス感染症の猛威は続き、今週初めには東京都に第四回目の緊急事態宣言が発出されました。コロナ禍の中、一層はつきりと暴かれた社会の矛盾・分断、近代文明の限界から目を逸らすことなく、現実を直視することで課題を認識してゆくことが不可欠です。無関心のグローバル化から脱却して、いのちを優先する経済や社会構造を実現するために、これからの生き方を一人ひとり模索する時期を迎えています。現代を、人類が地球を破

壊する環境危機の時代として「人新世（ひとしんせい）」と呼んで豊かさの意味の捉え直しを促したり、「脱成長」「定常型」社会への移行を目指すことで、経済成長を続けなくてはならないという呪縛からの解放を提起したりする著書も刊行されています。例えば、『ポスト資本主義 科学・人間・社会の未来』（広井良典 岩波新書）、『人新世の「資本論」』（斎藤幸平 集英社新書）等を参照してください。教皇フランシスコが「私たちの共通の家」と表現された地球を守るために、身近に起きている異常気象をはじめとする環境危機等の近代文明の限界を対岸の火事の他人事とするのではなく、我がこととして考え、この夏のテーマとして課題解決にチャレンジしてほしいと切望します。緊急事態は、新型コロナウイルス感染症の問題だけではなく、地球の持続可能性という喫緊の課題も緊急性を帯びて私たちに迫っているのです。学んだことを社会・世界に繋げ、先ず自分の足許を見つめて脚下照顧！自分の生き方を振り返ってみてください。

考えるプロセスのヒントとして、自己内対話の実践による探究と、課題解決力をアップさせる鍵となる「アンラーン」を紹介します。自己内対話による探究は、自身の体験から生まれた心の葛藤に対して恐れずに向き合ったり、書籍・新聞・雑誌等で関連事項を吸収した後、生じた矛盾する考えを徹底的に検討したりして、時には自己内矛盾をも暫く容認する思考法です。また、「アンラーン」は、編み物の毛糸をほぐして新たなものを編み直すように、学んだ内容を再編成して、目の前の問題解決に対応できるように応用する方法です。両者の活用によって、自分の見ていた世界や自分の思いを超えて、状況をダイナミックに眺めることが可能になると確信します。これらは、21世紀を生き抜くために必要な学びのスタイルです。

そして、21世紀型コンピテンシーに就いて語られる時に話題に上る「マズローの欲求ピラミッド」のピラミッドの頂点には、「自己実現、自己超越」と記されています。この「自己実現、自己超越」は、光塩の「光と塩」の精神、即ち、自分が精一杯がんばって身につけた成果や習得した技術・知識をもとに自分の専門性や実力を発揮して、他者のために生きることを喜びとする人生と重なっているのです。

21世紀に要請にされる探究力の涵養を期して、今年の夏も、第二回「思考の道場 TANUKI レポートコンテスト」を実施致します。

〈今年のお題〉は、

☆「多様性を大切に社会を実現するために、私（私たち）にできることは？」です。

学校目標「光と塩」のサブテーマ「塩 SALT」の「T:Tolerance 多様性—寛容」に着目して、現代社会や自分自身における解決すべき課題を提示し、解決に向けての方針を論じたうえで、課題解決の糸口、例えば

- ・SDG s（各目標の具体化）
- ・学年進行の目標（自己内の多様性に向き合い自己内対話を展開）
- ・JBBY「日本児童図書評議会」協力による「世界の子どもの本展」（文化の多様性）
- ・「生命誌絵巻」〈生命誌研究館 HP〉（生物多様性）

- ・オリンピック（多様性を尊重した平和の祭典）
- ・「分断ではなく橋をかける」（教皇フランシスコ）

等と繋げて解決策を具体的に示してください。

A4 1～2枚程度

〆切 9月末日

賞品 TANUKIグッズ

「かけがえのない存在」である皆さんが、皆さん自身と自己内対話に励み、また同様に「かけがえのない存在」である他者を慮って熟考した力作レポートを楽しみにしています。

さて、高3の皆さん、2022年度大学入試は、新入試制度2年目の年に当たります。天下分け目の天王山である夏休みを迎え、先ずは、兵法通り、敵を知ることが肝要です。過去問と対峙して、今春の新入試での変更事項が範囲や設問にどのように反映しているかをしっかり掴み、出題傾向を分析したうえで、現時点での自らの達成度をきちんと認識し、到達すべきラインと現状の実力とのギャップを埋めるところから丁寧に始めてください。約40日の夏季休暇では日曜日のサザエさんが6回、今年は明日が日曜日ですから一回多くて7回放映されたら、あっという間に、もう2学期です。「平常心是道」を貫いて、即ち、いつも通りを大切に淡々とノルマを熟すことをお勧めします。小論文を使う予定の方は、隙間時間を使っての種仕込みにも励んでください！楽しんでの学びは、免疫力も上げ気分転換にもなり、一挙両得です。お元気に納得のゆく日々を過ごされるよう、神様の御加護をお祈りしています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中で迎える夏休み。私ぐらい、私たちぐらいという油断と甘えを払拭して、「すべてのいのちを守る」気概を持って日々を過ごしてください。デルタ株に加え、ラムダ株の蔓延も懸念されます。今まで以上に感染防止に努め、心身ともに健康な毎日でありますように！

皆さんと御家族の皆様が心豊かに素敵な夏を満喫されることをお祈りしています。

今日も一日、そして夏季休暇中の日々もファイト！です。

喝！！